



第117回日本皮膚科学会総会
イブニングセミナー

2



日時

2018年**5月31日**(木)
18:30~19:30

会場

第6会場 (3F 音戸)
リーガロイヤルホテル広島
〒730-0011
広島県広島市中区基町6-78

亜鉛と脱毛・亜鉛と褥瘡

座長

磯貝 善蔵 先生
国立長寿医療研究センター
皮膚科 部長

1 亜鉛と脱毛

演者

中村 元信 先生
産業医科大学医学部
皮膚科 教授

2 亜鉛と褥瘡

演者

植木 理恵 先生
順天堂大学医学部附属
順天堂東京江東高齢者医療センター
皮膚科 先任准教授

① 亜鉛と脱毛

演者 **中村 元信** 先生(産業医科大学医学部 皮膚科 教授)

脱毛症はさまざまな原因で生じる。自己免疫が主体と考えられている円形脱毛症、男性ホルモンが酵素で代謝されたジヒドロテストステロンによる男性型脱毛症のほか、全身性エリテマトーデス、強皮症などの膠原病や真菌感染によっても脱毛が生じる。さらに、脱毛症は甲状腺機能異常、ビタミンDなどのビタミン欠乏症や血清セレンや亜鉛濃度の異常によって起こることも知られている。本講演ではこれらのホルモン、ビタミン、微量金属の過不足による脱毛の症状と治療について概観する。

② 亜鉛と褥瘡

演者 **植木 理恵** 先生
(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
皮膚科 先任准教授)

平成29年日本皮膚科学会発行の褥瘡診療ガイドラインのCQ5:栄養補給は褥瘡の予防とケアに有用か?、CQ9:栄養状態を改善することで褥瘡の治癒は促進するか?では、いずれも推奨度は「1A」で栄養が褥瘡診療で重要であるとされた。アミノ酸・ビタミン・微量元素の有用性が示され、微量元素である亜鉛も創傷治癒過程に関わる栄養素として取り上げられている。褥瘡患者の亜鉛必要量は1日15~30mgと言われているが、褥瘡患者は食事量が少ない例や、経管栄養や経静脈栄養の場合が多く、アミノ酸と共に亜鉛は不足しがちである。栄養で亜鉛を充足させるには時間を要し、栄養摂取形態の変更を要する症例では、介護者の負担増加などで容易にいかない場合がある。亜鉛不足は感染リスクを高めることも知られ、亜鉛不足の早期改善が望ましい点を考慮すると、酢酸亜鉛水和物の投薬は、比較的短期間で亜鉛不足の改善が期待でき、褥瘡治療の一助になると考えられる。